

#### 東大鎌田研での超小型EVの取組

・シルバービークルの提案と評価。秋田県鷹巣町1998

・市販車両を用いた評価実験。

茨城県十王町2003。福井県大野市2009

・市販車両のカスタマイズ

千葉県柏市2012

・震災被災地での活用



大槌





#### 愛知県豊田市の里モビサークル(コムスサークル)

超小型電気自動車を自分たちの手でいじって、地域の使用に適した仕様へ改 造していく集まり

・足助・旭で3か所の拠点。約10名がコアメンバ。

・地域で30台以上のコムスを走らせている

• 活動はHP参照

https://tyev.jimdo.com

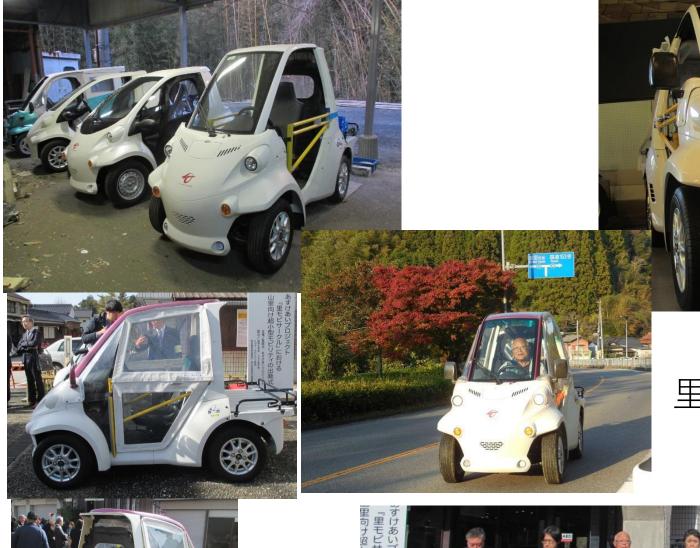




















### わかったこと

- ・比較的交通量の少ない道路で、近隣移動用としては、30km/h程度の超小型EVの使用が適している。
- 乗降性や取り回しのしやすさを高く評価し自己所有したいという人から、衝突時に危険なので乗りたくないという人まで様々
- ・熱烈な支持者が2割、拒否が2割、初見で中立的な人が6割で、 後者は実際に試乗してみると、支持が2割、いずれ必要という のが3割、拒否が1割程度。合計すると支持が4割、今は不要が3 割、拒否が3割程度か。
- 2人乗れることが必要。
- 自宅で充電できることが高評価。
- 航続距離は30kmあれば十分。

## 超小型EVの得失

- 取り回しがしやすく、乗りやすい。
- ミニカー登録だと維持費が安い。
- 自宅で充電でき、電気代も安い。
- 超小型・軽量のため、万一事故を起こしても、加害性が低い。
- 高齢者の家族からも、30km/h程度の乗り物なら安心という声。
- バイパス道など速度の高いところでの他車との並走は怖い。
- ぶつけられた際の被害度は大きい。
- 低速で走ると円滑な交通流を乱す可能性。
- エアコン等が無いので快適性に難。(でも近距離なら我慢できる)

# 超小型モビリティへの提案

- 現状では、自治体等が申請する認定制度のみ
- 国交省のWGで、型式指定で量産できるタイプの安全基準の検討
- それ以外のタイプやミニカーの扱いはまだ結論得ていない。
- ・安全運転センターの調査研究で、ミニカーの積載量緩和の検討
- 車検証が無いといったミニカーの特殊性で話が進んでいない。
- 超小型モビリティを高速(60km/h) ・低速(30km/h) の2タイプ とし、前者を軽枠、後者をミニカー枠で実現できないか。
- ミニカーのうち超小型モビリティ・低速にカテゴライズできるものは、ガイドライン等を定めて、それに準拠させ、認定。
- そして、その低速型を高齢者の日常の足用に活用できないか。
- 免許制度にうまく取り込めるとなおよい。

#### その他のモビリティ:グリーンスローモビリティ

- 元々は、石川県輪島市で、商工会議所の熱意でナンバー交付
- その後、交通エコモ財団で電動小型低速車のプロジェクト
- これを、国土交通省が、グリーンスローモビリティとして普及させようとしている。
- ゴルフ場のカートを保安基準に適合させて公道走行可としたもの
- 20km/h未満であるので、シートベルトも不要。乗り降りしやすい。
- ただし、交通の流れを乱すといけないので、走る所を選ぶ。
- また、雨天や暑さ寒さは、ホロがあるものの、厳しい面も。
- ・しかし、各地で好評。軽登録の4人乗りのほか、登録車の6-7人乗りも
- 誘導線式自動運転にも容易に展開できる。









輪島・コンセプト車自動運

















上小阿仁・専用区間自動運













### 被災地大槌での取り組み2013-4

- パーソナルモビリティの活用 セニアカー 電動アシスト自転車 コムス
- 新しいもの 6km/h超の電動車いす ゴルフカート











旧県道での試乗会



ローカルFMのレポーター

釜石警察署(交通課長 他)、大槌交番所長 他の皆さんが体験試乗









吉里吉里第4仮設に遠征









